



翔け! 多入高校

Vol. 26

School Topics

■問い合わせ 佐賀県立多久高等学校 ☎75-3191

佐賀県立多久高等学校の旬な話題などをご紹介します。

多久高校ってどんな高校?

～体験入学～



▲体験入学参加者を相手に系列の説明をする多久高校の生徒

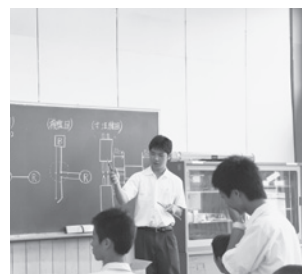
8月7日、多久高校を会場に中学3年生を対象とした体験入学が、多久市、小城市、唐津市、佐賀市、鳥栖市から195人が参加し行われました。

体験入学の参加者は、体育館での説明のあと校内の案内、実際に授業を体験する2グループに分かれ、多久高校生徒が行う各系列の説明や、授業体験に緊張の面持ちで臨みました。

講師は高校生!

～生徒が実体験を踏まえて説明～

体育館では、多久高3年生がスクリーンに投影したパワーポイント資料で、実体験を交えながら各系列の特徴など分かりやすく説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲工業技術系列で実際に電気工事の配線を行うため、内容の説明をする様子

各系列に分かれた教室では、参加者に高校生たちが協力して、授業での実習科目を指導していました。

参加者は、初めて体験する実習授業に慣れない手つきで挑戦していました。



▲パソコンでのプログラム入力に挑戦

また、就職に有利な資格取得情報など、多久高校の魅力体験する一日となりました。



▲健康福祉系列では、車椅子での介助やベッドメイキングの体験をしました

産業技術学院での貴重な体験

～産業技術学院連携事業～

今年で2回目となる多久高校と産業技術学院の連携事業が8月11日・12日、産業技術学院で行われ、多久高校生徒26人が参加しました。

この事業は、多久高校には無い、最新の設備で最新の技術を肌で感じてもらうと、産業技術学院のプロジェクトチームが企画し、実施しているものです。織田良範学院長は「近い地の利を活かし、多久高校の生徒のキャリア教育支援ができないかと取り組んでいます。企業在職者の指導も行える優秀なスタッフのもと実際に企業に導入されている設備や機械を体験できるいい機会です」と連携事業の特長について説明されました。



▲太陽光パネル設置の実習で、取り付けなどの説明を受ける生徒

▼建築技術・設計科の木材加工で「カホン」を制作する生徒



▲自動車工学科で、最新のハイブリッド車で点検などの実習を行う生徒

▼機械技術科でフライス盤を使った実習。金属製のさいころを制作する生徒



参加者は、各学科に分かれて実習に臨み、普段できない体験に目を輝かせていました。
自動車工学科に参加した野田采那さんは「自動車部品の製造業に就職希望している。学校には無いので、大変貴重な経験です」と感想を話しました。



▲木工芸デザイン科でユニバーサルデザインについて学ぶ生徒